

2023年度 オレンジリボン支援団体活動報告書 NPO法人新座子育てネットワーク



管理番号

1337

2023年度のオレンジリボン運動活動報告

2023年度は、新座市児童センター、福祉の里児童センター、子育て支援センターるーえん、子育て支援センターセサミ、大泉子育てのひろば わとと の5箇所の施設にて、11月に下記内容で実施しました。

(共通の活動)

オレンジリボンを来館者に配布、職員がオレンジリボンを身につける
児童虐待防止推進月間ポスター、虐待防止に関する情報を館内に掲示

(施設別)

■ 新座市児童センター

利用者が虐待通報の対象になったことを受け、職員間ミーティングで虐待とは何かについて話し合いを行った。

■ 福祉の里児童センター

テーマトーク「子育てまっ最中！楽しいこと&大変なこと」の実施。0～1歳、2歳の子どもをもつ保護者を対象にそれぞれ1回ずつ開催し、計7組の親子が参加。子育てにおける楽しいことだけでなく大変なことを参加者同士で共有しあい、ストレスの解消法として、「少しの間だけ風呂場に籠る」、「誰かとおしゃべりする」など具体的な話で共感し合うことができた。また、親や子どもの居場所についての必要性を感じている声が多く上がった。

■ 子育て支援センターるーえん

予防型プログラム「みんなで話そう～子育てのストレス解消法～」を実施し3組の親子が参加。後日「プログラムに参加したことで、つらいのは自分だけじゃないんだと思えるようになった」と、気持ちの変化を話してくれた参加者がいた。

■ 子育て支援センターセサミ

予防型プログラム「子育ての困りごとどうしてる？」をテーマに実施、4組の母親と子どもが参加。テーマを設けて改めて話すことで、言葉にして整理することができた。

■ 大泉子育てのひろば わとと

予防型プログラム「テーマトーク～子どものほめかた・しかり方」を実施し4組の親子が参加。悩みを共有しあうことで、子育ての孤立感の軽減を図る。子どものほめ方・しかり方について基本を学び、体罰や児童虐待についての正しい知識を得る。参加者からは「自分だけではないと振り返る時間となった」「ゆとりをもって、視点を変えたりして子ども楽しく暮らしていきたい」との前向きな声が多く聞かれた。

